

富山高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	応用情報処理論	
科目基礎情報							
科目番号	0038			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	国際ビジネス学専攻			対象学年	専2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	萩原 信吾						
到達目標							
1) アルゴリズムの設計ができる。 2) データ構造について説明ができる。 3) VBAを用いてプログラムの作成ができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	無駄のないアルゴリズムを設計できる。		アルゴリズムの設計ができる。		アルゴリズムの設計ができる。		
評価項目2	データ構造を工夫してプログラムに反映することができる。		データ構造について説明ができる。		データ構造について説明ができる。		
評価項目3	自ら調べて自由にVBAのプログラムを組むことができる。		VBAを用いてプログラムの作成ができる。		VBAを用いてプログラムの作成ができる。		
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー B-2							
教育方法等							
概要	現在EXCELはあらゆる業種の現場で用いられている表計算ソフトである。しかしながら、大半の現場ではその表計算ソフトのほとんどの機能が使用されず、人力で入力および計算がされている。そこでEXCELの自動処理に使用されるVBAを用い、VBAのプログラミングについて学ぶ。これにより実際の現場でVBAの自動処理を用いて、業務の効率化が可能となる。						
授業の進め方・方法	講義による説明と演習による形式で行う。 なお事前に行う準備学習として、以下の前回の講義の復習および予習を行ってから授業に臨むこと。 (授業外学習・事前) 授業内容を予習しておくこと (授業外学習・事後) 授業内容の復習を行うこと						
注意点	評価が60点に満たない者は、願い出により追認のための課題を受けることができる。追認課題の結果、単位の修得が認められた者にあつては、その評価を60点とする。 評価は課題で作成したものの評価とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	ガイダンス	プログラムについての基礎知識			
		2週	VBAの基礎	基礎的なアルゴリズムとそれとともなうデータ構造			
		3週	VBAにおける変数と型	データと型における基本概念			
		4週	VBAの条件分岐	VBAの構文規則などの言語基礎知識			
		5週	for文	VBAの構文規則などの言語基礎知識			
		6週	while文	VBAの構文規則などの言語基礎知識			
		7週	foreach文	VBAの構文規則などの言語基礎知識			
		8週	セル	セルの操作プロパティなど主要APIの説明			
	2ndQ	9週	ファイル	ローカルシステムに対するファイル操作			
		10週	課題作成				
		11週	課題作成				
		12週	課題作成				
		13週	課題作成				
		14週	課題作成				
		15週	課題作成				
		16週	課題作成				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	課題	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	0	70
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0